さくら組の ちいさなおかあさん♡

さくら組 ⑨
R6.1月

ぬいぐるみを赤ちゃんに見立てて、お世話ごっこを楽しんでいる子ども達。抱っこやおんぶをしたり、寝かしつけたりと、普段の生活の中で自分がしてもらっていることを、遊びの中で上手に再現しながら楽しんでいます。また、気の合う友達同士で、「一緒に遊ぼう」と声を掛け合ったり、簡単な遊びのイメージを共有したりしながら、一緒に遊ぶ姿も見られるようになってきました。保育者が“友達と一緒に遊んで楽しかった”という思いを受け止めたり、共感するような言葉を掛けたりすることで、少しずつ友達同士のつながりが深まっていくといいなと思っています。

いっしょにあそぼう！

あっ、おしっこでてる！

(保) オムツきれいになった？

うん！
ねんねするの

やさしく トントンしてあげているね

(保) なにしてるの？

あかちゃん
おねつ あるの！

(保) おでこ ぺったんて
するやつ？

そう！ おでこ
ぺったんて するの

ハンカチを折って、
冷えピタに見立てているんだね

あかちゃんにも
ごはんたべさせてあげよう

友達を遊びに誘ったり、簡単なイメージを共有したりしながら、友達と一緒に遊ぶことを楽しんでいます。
【協同性】

普段の生活の中で経験したことを、遊びの中に取り入れ、再現して遊ぶことを楽しんでいます。
【豊かな感性と表現】

友達同士で言葉のやり取りを楽しんだり、遊びのイメージを言葉で表現したりして楽しんでいます。
【健康な心と体】